

研究協力をお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

超音波内視鏡に関わる疫学、診断、治療等に関する後方視的研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2014 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日に、当院で超音波内視鏡検査を施行された通院歴ないし入院歴のある患者さん。

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、当院で超音波内視鏡検査を受けられた患者を対象にその臨床像や検査の実態を明らかにすることです。

昨今、膵癌・胆管癌といった患者が増加しており、早期の診断・治療への介入が重要となっています。そこで超音波内視鏡検査やその関連手技が広く行われるようになっていきます。膵癌のリスク因子とされる膵管内乳頭粘液性腫瘍の経過観察においてガイドラインで重要な位置づけとなっており、早期膵癌の発見のみならず生存率の改善への寄与など、その有用性が期待され当院でも継続的に行っています。しかし診断精度は施設間でばらつきがあるのも現状です。

これらの背景を考慮し、多くの臨床上的問題点を解明するため、当院での超音波内視鏡検査と関連手技の寄与および長期予後を後方視的に検討することを計画しました。

具体的には、診断名、患者背景（年齢、性別など）、罹病期間、内視鏡検査所見、治療方法と効果、偶発症等を抽出し評価します。

本研究は昭和大学江東豊洲病院に通院中の患者データを利用した観察研究です。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから、2030 年 3 月 31 日まで。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録から、診断名、年齢、性別、罹病期間、併存疾患、投薬内容、臨床所見、検査データ、画像検査所見（超音波、CT、MRI など）、内視鏡検査所見、治療方法と効果、偶発症等

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：消化器センター

氏名：角一弥

住所：東京都江東区豊洲 5-1-38

電話番号：03-6204-6000（代表）

研究責任者：角一弥